

“まつど暮らしのプロ”にインタビュー

まつど暮らしの研究ノート

市内で精力的に活動されている方々がメンバーとなっている「まつどやさしい暮らしラボ」。「まつど暮らしのプロ」たちに、これまでの同ラボの活動から見えてきたこととともに、市民としての長いご経験から、「まつどで暮らすこと」の実態について、インタビューしました。



「まつどやさしい暮らしラボ」とは

松戸市のシティプロモーションは、地域の資源や魅力を伝えるためのPR活動や情報発信だけではありません。松戸市内外の多くの人々に「まつど」というまちに対して愛着や誇りを持ってもらい、まちや人々の間に眠っている地域の魅力や人々の交流等を掘り起こし、新たなまちの魅力や人々のつながりを創り育てていくことが、とても大切なことだと考えています。そこで、松戸市にお住まいの方たちや松戸市に愛着のある方たちが、行政と一体となって、松戸市の魅力や松戸市らしさを再発見し、自ら発信していく情報共創型のプロモーション活動として「まつどやさしい暮らしラボ」が2013年度に発足しました。「まつどやさしい暮らしラボ」は、発足してから7年。市民が主体となって、松戸市の魅力や暮らしやすさについて探求し、これまでに市内内外で様々な活動を実施してきました。



2013年度

- 松戸市の“やさしさ(魅力)”の共有や探求
- 積極的な活動によるアピールやPR

STEP1 シティプロモーション 創成期 → CP活動期

- 「まつどやさしい暮らしラボ」の発足 (2014年)
- 「まつどやさしい暮らしラボ」WEBサイトの開設 (2014年)
- 「まつどライターズクラブ」の発足 (2014年)

- 第1回「まつどやさしい暮らし会議」を開催 (2014年)
- 「ごちそうとぼうさい」を開催 (2015年)
- やさしい暮らしインタビュー&アンケートの実施 (2015年)
- 「防災フェス2016」を開催 (2016年)
- 「松戸やさしい暮らしガイド」を発行 (2016年)
- 「柏レイソル 松戸ホームタウンサンクスデー」への参加 (2016年)
- ワークショップ「YAKIRI♥なう」を開催 (2017年)

- 編集会議を実施 (2014年以降、計11回)
- 市民ライターによる記事発信 (2014年以降、計80件)
- 市民ライター研修(協力:『コロカル』編集部)を実施 (2015年)



2018年度

- 松戸市での暮らしの実態の把握、共有、発信
- まつど暮らしのプロモーション活動を展開

STEP2 CP醸成期 / ライフプロモーション 創成期

CP: シティプロモーションの略

■□: ラボ全体関連 ●○: 市民記者関連

- 「まつどやさしい暮らしラボ」WEBサイトのリニューアル (2019年)
- 「まつどライフプロモーション」の始動 (2019年)

- 「プロジェクトメンバー&市民ライター 合同勉強会」を開催 (2019年)
- 「まつどの『暮らし歳時記』づくりワークショップ」を開催 (2019年)
- 「暮らしの実態を探る街頭インタビュー調査」を実施 (2019年)
- 「松戸と柏の“農”のコラボ販売イベント」を開催 (2020年)
- まつど暮らし実態調査プロジェクトの開始 (2020年~2021年)
- 柏にて「まつど都合のいいマーケット」を開催 (2021年)
- 「MATSUDO USUAL」の発行 (2021年)

- 編集会議の開催 (2018年以降、計4件)
- 市民ライターによる記事発信 (2018年以降、計20件)
- セミナーや講座等への参加支援 (2019以降、計7件・利用者数計6名)



春と秋は、千恵さんの好きなものが楽しめる季節。「春は、桜ですよ。3カ所巡るので、開花すると忙しいんですよ。六実のさくら通り、八柱常盤平く五香のさくら通り、八柱霊園ですね。特にこの『八柱霊園』のあたりは、高い桜の木々が道を覆っていて、桜のピンクに透ける青い空が本当に美しく。ぜひ、ドライブがてら行ってみてほしいです。六実の『さくら祭り』は市外からも多くの方が訪れる、このエリアの一大

桜と梨が大好き わが家流の楽しみ方を見つけて

の家に遊びに行くこともあります。職場の人に話すと、『コミュ力が高いですね』って驚かれるのですが、そんなことはなくて(笑)。似たもの同士、仲良くさせてもらっているというか。私も大人になって友達ができるとは思っていません。ですが、これもアットホームな六実ならではの文化かも?同じ保育園だった長男の友達の中には、別の学区の小学校に通っている子もいるのですが、市立の中学校はこのエリアに1校なのでまた一緒にいるんです。楽しみだし、安心ですよ。まちの一体感も、そんなところから生まれているのかもしれないですね」

今はすっかり 六実がぴったり

イベント。地元の方の屋台などがずらりと並びますよ。そして秋は、「梨です!六実に来る前は、あれば食べるというぐらいだったのですが、こちらに来たら『あきづき』かおり』『新高(にいたか)』など、いろいろな種類が楽しめるのが好きになりました。種類ごとにお気に入りの農家さんがあって、あちこち買いに行っています。スーパーでは買ったことはないですね。農園で直接買えるのっていいですね。野菜などを直売しているところも多いので好きですよ」と千恵さん。

まつど暮らしも10年を超えた千恵さんに住み心地を聞いてみると、「都会っぽさと田舎っぽさのバランスがちょうど良いし、ママ友や近所の人たちも皆さんあたたかいし。そして、意外と便利。東京への通勤はもろろん、車で『セブンパークアリオ柏』や千葉ニュータウンにもすぐに出られるし。大津川の河川敷や白井市の大きめの公園にさっと行って、子どもたちを遊ばせることもできます。子どもたちの習い事もいろいろ選べて、今は保育園に英会話の先生が来てくださるので

そこに通ったり、六実市民センターで空手を習ったりしています。私としても、オフィス街との違いが大きくてオンオフのメリハリがつけやすく、通勤中にお料理ブログを見たり、乗換駅の船橋でネイルやデパ地下で買い物したり、私1人の時間も持っています。こんなライフスタイルが、今の私にぴったりなのかなと思います」

